

国立民族学博物館研究報告 vol.14-1; 表紙, 目次ほか

雑誌名	国立民族学博物館研究報告
巻	14
号	1
発行年	1989-07-27
URL	http://hdl.handle.net/10502/00009213

1989 — 14.1 卷 1 号

国立民族学博物館 研究報告



ダルマの力と帰依者たち

——東北タイにおける仏教とモータム—— 林 行夫

両手の拳，社会，宇宙

——手の指による数の指示法に組み込まれたキプシギスのコスモロジー—— 小馬 徹

チカーノの来た道

——その歴史的経緯—— 黒田悦子

魚醬の起源と伝播

——魚の発酵製品の研究 (8)—— 石毛直道



国立民族学博物館

〒565 大阪府吹田市千里 万博公園 TEL. 06-876-2151

国立民族学博物館研究報告

14 卷 1 号

1989 年

目 次

ダルマの力と帰依者たち ——東北タイにおける仏教とモータム——	林 行夫	1
両手の拳, 社会, 宇宙 ——手の指による数の指示法に組み込まれたキプシギスのコスモロジー——	小馬 徹	117
チカーノの来た道 ——その歴史的経緯——	黒田悦子	167
魚醬の起源と伝播 ——魚の発酵製品の研究 (8)——	石毛直道	199
彙 報		251
国立民族学博物館研究報告寄稿要項		256
国立民族学博物館研究報告執筆要領		257

BULLETIN OF THE NATIONAL MUSEUM OF ETHNOLOGY

Vol. 14 No. 1

1989

HAYASHI, Yukio	The Making of the Power of <i>Thamma: Mo Tham</i> and Thai Buddhism in the History of Thai-Lao Peasants ...	1
KOMMA, Toru	Both Hands, Society, and Cosmos: Kipsigis's Cosmology Embedded in Their Counting System on Fingers	117
KURODA, Etsuko	Major Aspects of Chicano History.....	167
ISHIGE, Naomichi	Origins and Distributions: A Study of Fermented Aquatic Products (8).....	199

彙 報

(昭和64年1月1日～平成元年3月)

人事異動
(教育職)

(任期满了)

3月31日 京都大学・第三研究部併任教授 谷 泰
一橋大学・第三研究部併任教授 長島 信弘
大阪大学・第五研究部併任教授 木村 重信

(退 職)

第1研究部教授 君島 久子

シンポジウム

◎近代世界における日本文明一言語と文字の比較文明学一

日時 平成元年3月17日(金)～24日(金)

場所 国立民族学博物館

適要 今回のシンポジウムでは、さまざまな文明が自己形成し、発展してゆく過程で言語が果たしている役割りについて考察するいっぽう、ことばや文字をひとつの窓口として諸文明をかながえる。

組織委員会

(委員長)

梅棹 忠夫 国立民族学博物館長

(委員)

竹村 卓二 国立民族学博物館第一研究部部長

佐々木高明 国立民族学博物館第二研究部部長

杉本 尚次 国立民族学博物館第三研究部部長

友枝 啓泰 国立民族学博物館第四研究部部長

藤井 知昭 国立民族学博物館第五研究部部長

和田 浩司 国立民族学博物館管理部長

(専門委員)

ヨーゼフ・クライナー
ドイツ日本研究所長

ハルミ・ベフ スタンフォード大学教授

実行委員会

(委員長)

小川 了 国立民族学博物館第三研究部助教授

(委員)

小山 修三 国立民族学博物館第四研究部助教授

瀬川 昌久 国立民族学博物館第一研究部助手

朝倉 敏夫 国立民族学博物館第四研究部助手

林 行夫 国立民族学博物館第四研究部助手

桜井 哲男 国立民族学博物館第五研究部助手

糸金則由紀 国立民族学博物館庶務課長

湯浅 叡子 財団法人千里文化財団専務理事

宇治日出二郎 財団法人千里文化財団事業部長

参加者

ハルミ・ベフ スタンフォード大学教授
(アメリカ)

パオロ・カルヴェッティ
中亜・極東研究所(ローマ)
・主任講師(イタリア)

ヨーゼフ・クライナー
ドイツ日本研究所長(西ドイツ)

リチャード・ルービンジャー
ハワイ大学助教授(アメリカ)

イルジー・ネウストプニー
モナシュ大学教授(オーストラリア)

イケトット・スラジャヤ
インドネシア大学教授(インドネシア)

ジェームス・マーシャル アンガー
ハワイ大学教授(アメリカ)

稲垣 吉彦 文教大学講師

梅棹 忠夫 国立民族学博物館長

小川 了 国立民族学博物館助教授

崎山 理 国立民族学博物館教授

染谷 臣道 九州工業大学教授

徳川 宗賢 大阪大学教授

宮本 正興 大阪外国語大学教授

日 程

3月17日(金)(千里阪急ホテル)

17:00 登 録

3月18日(土)(国立民族学博物館)

9:30 開会式(司会 小川 了)

9:35 参加者紹介(司会 小川 了)

10:00 基調講演 梅棹 忠夫
(代読 小山 修三)

11:00 館内見学

セッション1「無文字文明と有文字文明」

(座長 ハルミ・ベフ)

- 13:30 宮本 正興「無形と有形を結ぶもの—文字という暴力装置—」
能力の東西—言語学的・言語心理学的データから—
- 14:30 討 論 14:00 討 論
- 15:45 小川 了「文明史のなかの人の名づけ—人間にとっての名前とは何なのか—」
3月22日(水) (国立民族学博物館)
セッション5「日本語の諸問題」
(座長 崎山 理)
- 16:45 討 論 10:00 イケトット・スラジャヤ「日本語の国際化—インドネシアの事例—」
- 3月19日(日) (国立民族学博物館)
セッション2「多言語国家の諸問題」
(座長 イケトット・スラジャヤ)
- 11:00 討 論 11:00 討 論
セッション6「標準語、方言」
(座長 パオロ・カルヴェッティ)
- 10:00 染谷 臣道「もう一つの文明へ—インドネシアの場合—」
13:00 イルジー・ネウストプニー「日本語の問題」
- 11:00 討 論 14:00 討 論
(座長 崎山 理)
- 13:00 崎山 理「多民族・多言語国家における言語の統一と地方語の宿命—インドネシア、オセアニアの場合—」
15:30 パオロ・カルヴェッティ「近代国家成立過程における国語教育と標準語化—イタリアと日本との比較を中心にして—」
- 14:00 討 論 3月23日(木) (国立民族学博物館)
セッション6「標準語、方言」
(座長 パオロ・カルヴェッティ)
- セッション3「はなしことばと書きことば」
(座長 イルジー・ネウストプニー)
- 15:30 稲垣 吉彦「パブリックスピーキングにおける話しことばの課題」
10:00 徳川 宗賢「日本語の地域差とその消長」
- 16:30 討 論 11:00 討 論
- 3月20日(月) (国立民族学博物館)
セッション4「識字能力」
(座長 ヨーゼフ・クライナー)
- 10:00 リチャード・ルービンジャー「識字能力の東西—19世紀のヨーロッパと日本—」
14:00 総合討論 (司会 小川 了)
- 11:00 討 論 17:00 閉会式
- 13:00 J・マーシャル・アンガー「識字」
3月24日(金) (千里阪急ホテル)
午前中 ワークショップ
解 散

海外における研究・調査・収集活動

氏 名	官 職	出 発	帰 国	行 先
杉田 繁治	教 授 (第五研究部)	64. 1. 4	1. 1. 15	インド
江口 一久	助教授 (第三研究部)	64. 1. 4	1. 3. 3	フランス, カメルーン
栗田 靖之	助教授 (第二研究部)	1. 1. 8	1. 1. 15	中国
久保 正敏	助 手 (第五研究部)	1. 1. 8	1. 2. 3	オーストラリア
杉島 敬志	助 手 (第二研究部)	1. 1. 16	1. 1. 27	インドネシア
崎山 理	教 授 (第五研究部)	1. 1. 25	1. 2. 26	マダガスカル, ケニア
石毛 直道	教 授 (第四研究部)	1. 1. 28	1. 1. 31	中国
栗田 靖之	助教授 (第二研究部)	1. 1. 29	1. 2. 17	インド
ケネス・ラドル	助教授 (第五研究部)	1. 1. 20	1. 3. 18	ノルウェー, オランダ, マラウイ, シンガポール, タイ, インド, フィリピン
朝倉 敏夫	助 手 (第四研究部)	1. 1. 31	1. 2. 23	韓国
松澤 員子	助教授 (第二研究部)	1. 2. 1	1. 3. 13	台湾
藤井 知昭	教 授 (第五研究部)	1. 3. 14	1. 3. 19	タヒチ
大森 康宏	助教授 (第三研究部)	1. 3. 31	1. 10. 10	フランス, 連合王国, 西ドイツ, イタリア, スペイン, ポルトガル, オーストラリア, ベルギー, オランダ, ルクセンブルグ, デンマーク

来館者抄

- 1月10日 John THAYER (アメリカ合衆国, ピーボディ博物館日本担当専門研究員) 夫妻
Adam JONES (ドイツ連邦共和国, フランクフルト大学附属歴史文化人類学研究所) 夫妻
- 1月24日 Aida Bonnelly DIAZ (ドミニカ共和国, 国立劇場芸術部長)
Virgilio DIAZ GRULLON
- 1月28日 Arjun G. ASRANI (駐日インド大使) 夫妻
D. V. MOHAN (インド総領事)
- 2月3日 Christian SAUTTE (フランス, 大統領事務局長補佐) 夫妻
- 2月5日 ヌルホリス・マジット (インドネシア, インドネシア科学院常駐研究員) 夫妻
- 2月10日 SUBRAMANI (フィジー, 南太平洋大学副学長)
- 2月14日 関 茂雄 (東京都教育庁社会教育部, 埋蔵文化財係長)
榎本 雄治 (同, 企画調査担当主査)
安孫子昭二 (同, 埋蔵文化財係主任)
船倉 哲士 (神奈川県立博物館副館長)
佐藤 高利 (同館主事)
- 3月2日 昭和63年度行政情報システムに関する国際研修一行
Carlos Alberto Greco (Project Manager, Public Function Secretary Reporting to the President of Argentina, Argentina)
Israel de Oliveira Andrade (Manager of Computation Pre-sidence of Republic, Secretariat of Planning and Coordination Brazilian Institute of Geography and Statistics, Brazil)
Aoussedera Mahmoud Abdel Rihim (Department Manager Cabinet, Information and Decision Support Center (IDSC), Egypt)
Sri Gunawan (Programmer, Secretary Education & Training Agency, Ministry of Home Affairs, Indonesia)
Prastowo (Head, Data Proces-

sing and Trade Information Division, H.R. Soedarno, MA Secretary of Trade Research and Development Agency, Indonesia)

Kim Beom Yong (5th Grade EDPS Official Kim Yong Kap, Minister of Government Administration, Korea)

Ianan Abou Chakra (Specialist in the Directorate of Computer Data Processing, Bank of Lebanon, (Central Bank), Lebanon)

Rosni Abdul Nalek Rani (Senior Systems Analyst Director, National Institute of Public Administration, Malaysia)

Erlinda P. Arguelles (Supervising Statistician Department of Finance Agrifina Circle, Philippines)

Socorro L. Gamboa-Laureles (Project Officer, Development Academy of the Philippines, Philippines)

Dittachai Prichawinijtul (System Analyst Office of the Civil Service Commission Pitsanulok Rd, Bkk., Thailand)

Orathai Leksakulchai (Programmer, Data Processing and Disbursement Execution Div., Comptroller General's Dept., Thailand)

Yavuz-Ali Sener (Deputy Secretary General, Government of Turkey, Prime Ministry State Planning Organization, Turkey)

3月3日 京都大学外国人留学生一行
Hirai, Kanami (サンパウロ大学日本語科, ブラジル)

Hatano, Lilian Terumi (リオデジャネイロ連邦大学文学部, ブラジル)

韋 立 新 (広州外国語学院東方言語学部, 中国)

傅 羽 弘 (吉林大学外国語学部卒, 中国)

Wuthenow, Daniel Yuki (ハイ

- デルベルク大学文学部, 西ドイツ)
- Hendrokoesoemo, Dwira Hermandita (インドネシア大学文学部, インドネシア)
- Nayono, Rika Adriana Estetika (インドネシア大学文学部, インドネシア)
- Gobbi, Marcello (ベネチア大学日本語日本文学科, イタリア)
- 金 美 淑 (漢陽大学校日語日文科, 韓国)
- 權 寧 江 (啓明大学校日本文学科, 韓国)
- 金 明 蘭 (仁川大学日語日文科, 韓国)
- Wanrooij, Karin Elisabeth (ライデン大学日本文学科, オランダ)
- Hansen, Ingeborg (ライデン大学日本文学科, オランダ)
- Hutchinson, Lynne (ロンドン大学日本研究学部, イギリス)
- Moran, Mary (オックスフォード大学東洋学科, イギリス)
- Wang, Eugene Seitai (カリフォルニア大学アーバイン校経済学部, アメリカ)
- Smith, Julius George Saita (カリフォルニア大学ロスアンゼルス校政治学部, アメリカ)
- Tamaribuchi, Leslie L. (ハーバード大学, アメリカ)
- 3月4日 鄧 延 復 (中国, 西北設計院副総工務理事)
- 赴 尤 覽 (中国, 敦煌研究院副院長)
- 关 友 恵 (中国, 同院美術研究院)
- 3月7日 KRIKKIAT (タイ, タマサート大学長)
- LIKHIT (タイ, 同大学副学長)
- 3月9日 1988年度情報処理要員養成コース汎用パッケージ利用研修員一行
- Carla Blanck Purper (リオグランデ・ド・スールカトリック大学, 情報学部, 講師, ブラジル)
- Sandra Regina Holanda Mariano (運輸省連邦鉄道会社, 情報処理部, アナリストプログラマー, ブラジル)
- Endang Retno Sri Subiyandani (国民議会中央統計局, 情報処理課, プログラマー, インドネシア)
- Mohd. Isa Bin Nik (パーヘン州財務部, 情報処理課, システムアナリスト, マレイシア)
- Gustavo Olmedo Martinez (通信運輸省電気通信総局, 品質管理部, システムエンジニア, メキシコ)
- Victor Manuel Camacho Silva (コナスポ流通商務促進公社, 情報課, コーディネーター, メキシコ)
- Salim Sultan Alruzaiqi (外務省, コンピュータ部, プログラマー, オマーン)
- Adelia L. Bautista (環境天然資源省土地管理局, シニアプログラマー, フィリピン)
- Viviane P. Lopez (環境天然資源省土地管理局, 技官, フィリピン)
- Pensri Jaruganone (運輸通信省高速道路局, コンピュータセンター, システムアナリスト, タイ)
- Somporn Krutsakorn (運輸通信省運輸通信経済課運輸技官, タイ)
- 3月10日 Fernando Bernal SILVA-SANTISTEBAN (ペルー, リマ大学人文学部長)
- Nelson BUNLCO (パラグアイ, 農牧省技術顧問)
- 3月12日 陶 立 璠 (中国, 中国中央民族学院副教授)
- 3月13日 李 澤 厚 (中国, 中国社会科学院哲学研究所美学研究室主任研究員, 文教委員会文教委員)
- 中川美彩緒 (富山近代美術館普及課)
- 3月16日 索 文 清 (中国, 中国中央民族学院博物館長) 夫妻
- 3月17日 情報処理要員養成オンラインシステム設計コース研修員一行
- Nelson Tadashi Okuyama (パナ技術学院, 電気電子工学科,

コンピュータ研究室, 主任技師,
ブラジル)

Bogerio Santos Goncalves (テ
ュバラオ製鉄会社, データ処理
部, 技術支援課技術支援分析技
師, ブラジル)

Chen Guan-Qin (新疆科学技術
委員会, 汎用コンピュータセン
ター, ソフトウエア課, 課長,
中国)

Abd El-Monem Fath-Alla El-
Sangidy (新地域共同体, 土地
開発省, 情報センタープログラ
マー, エジプト)

Adi Nugroho (国民議会, 中央
統計局, 情報処理課, コンピュ
ータプログラマー, インドネシ
ア)

Sharon Marie Francis (公共事
業省, 国立コンピュータセンタ
ー, シニアシステムエンジニア,
ジャマイカ)

Nisrine Sinno (開発, 再建審
議会, システムエンジニア, レ
バノン)

Abd. Samad Bin Hj. Nor (総
理府, 公共事業部研修課, プロ
グラマー, マレーシア)

Santiago Segundo Chumbe
Soto (大蔵省, システム部, シ
ステムアナリスト, ペルー)

Raul Alfonso Espinoza Romero
(国立電話公社, コンピュータ
計画課, システムエンジニア,
ペルー)

Teresita B. Tabulao (運輸通信
省, 陸上交通規準, 許認可審議
会, シニアプログラマー, フィ
リピン)

Vachara Kanchanabundhu (ケ

ルングタイ銀行, コンピュータ
部, 情報サービスシステム課長,
タイ)

Srispang Suthonthunyakorn
(法務省, コンピュータセンタ
ー, 統計官4, タイ)

Gricelia Velasquez Garcia (大
統領府, 公共施設営繕庁, EDP
アナリスト, ベネズエラ)

Carlos Eduardo Mayorga Li-
garreto (カラカス地下鉄公社,
遠隔情報処理課, システムアナ
リスト, ベネズエラ)

3月23日 Ronaldo Edgar DUNLOP (ブラ
ジル, 外務省移住課長)

3月27日 S.P. AGGARWAL (インド, 文
化庁合同次官)
B.C. KAILAY インド, (インド
国立科学情報センター)

S.P. MUDUR (インド, 国立ソ
フトウェア技術センター)

3月28日 Peni WAQANICAKAU (フィジ
ー, 外務省次官補)

Bhuwan DUTT (フィジー, イ
ンド系人間題省次官)

Iavata SHORT (クック諸島,
駐ニュージーランド代表) 夫妻

3月31日 Etienne NTSAMA (駐日カメル
ーン大使)

Noel-Claude Njoya MOUCHILI
(駐日カメルーン大使館参事官)
北九州市立自然史博物館新館構
想検討委員会一行

小野 勇一 (九州大学教授)

畑中 健一 (北九州大学教授)

森下 郁子 (淡水生物研究所長)

太田 正道 (北九州市立自然史
博物館長)

遠山 一也 (技術吏員)

林 幸夫 (事務吏員)

国立民族学博物館研究報告寄稿要項

1. 国立民族学博物館研究報告は、民族学（文化人類学）に関する論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等を掲載・発表することにより、民族学（文化人類学）の発展に寄与するものである。
2. 国立民族学博物館研究報告に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
 - (1) 国立民族学博物館（以下「本館」という。）の教官（客員教授等を含む。）及び本館の組織、運営に関与する者
 - (2) 本館が受け入れた各種研究員及び研究協力者
 - (3) その他本館において適当と認めたる者
3. 原稿を寄稿する場合は、論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等のうち、いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお、この区分についての最終的な調整は、国立民族学博物館研究報告編集委員会（以下「編集委員会」という。）において行う。（編集する場合は、原則として論文及び資料・研究ノートを1段組、その他のものを2段組として取り扱う。）
4. 原稿執筆における使用言語は、日本語、英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語及びドイツ語のうちいずれを用いても差し支えない。ただし、その他の言語を用いる場合は、編集委員会に相談するものとする。
5. 特殊な文字、記号、印刷方法等が必要な場合は、編集委員会に相談するものとする。
6. 寄稿する原稿が論文で、日本語を使用する場合は、原則として英文により500語程度の要旨を付けるものとし、その他の言語による論文の場合は、編集委員会に相談するものとする。なお、寄稿する原稿については、執筆者名のローマ字表記及び原稿表題の英文を付記しなければならない。
7. 寄稿する原稿の枚数は、原則として制限しない。ただし、編集する場合は編集委員会の判断により、紙数等の関係から分割して掲載することがある。
8. 寄稿する原稿は、必ず清書（欧文の場合はタイプ）し、原稿の写し1部を添付するものとする。なお、図、表のスミ入れ、レタリングは、編集委員会で処理する。
9. 寄稿された原稿は、審査委員会において審査のうえ、採否を決定する。なお、原稿は、採否にかかわらず原則として返却しない。
10. 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
11. 原稿の執筆に当っては、別に定める「国立民族学博物館研究報告執筆要領」による。
12. 原稿の寄稿先及び連絡先は、次のとおりとする。

〒565 大阪府吹田市千里 万博公園10-1
国立民族学博物館内
国立民族学博物館研究報告編集委員会（電話 代表 06-876-2151）

国立民族学博物館研究報告執筆要領

1. 原稿は、200字詰原稿用紙を使用し、横書きとする。
2. 原稿は、図、表を除き、原則として黒インクを使用する。
3. 日本語を使用して執筆する場合は、原則として当用漢字、現代かなづかいを用いる。
4. 句読点、括弧、各種記号等は、原則として原稿用紙のマス目1字分の扱いをする。
5. 原稿中の年号、月日及びその他の数字は、原則としてアラビア数字を用いる。なお、年号は、原則として西暦とする。
6. 図及び表は、一図、一表ごとに別紙に書き、本文とは別に一括して添付するものとする。なお、図、表ごとに通し番号（「図1」、「表1」等の要領により記入）、図、表名及び説明並びに出典等を記し、本文原稿の欄外には、それぞれのそう入箇所を指定するものとする。
7. 写真は、写りの明瞭なもので、手札判以上の大きさに焼き付けたものに限り、図及び表の扱いに準じて通し番号、説明を付けたうえ、そう入箇所を指定するものとする。ただし、カラー写真は、原則として受け付けない。
8. 本文又は脚注において文献を指示する場合は、カギ括弧を付け、著者名、文献刊行年次、引用ページ数の順に下記の例に従って記載する。

[柳田 1942: 67-69]

[Leach 1961: 123]

[柳田 1942: 67-69, 1944: 20-22; Leach 1961: 123]

ただし、同年次刊行物の場合は、アルファベット順により、下記のように記載するものとする。

[柳田 1942a: 20-22] [柳田 1942b: 10]

9. 脚注は、一つ一つ別紙に記し、通し番号を付ける。なお、本文中に脚注をそう入する箇所には、脚注の当該番号を記入し、別紙の脚注には、本文のページ数を明記するものとする。
10. 本文及び脚注において参照した文献は、すべて原稿の末尾にまとめて下記の方法により記入する。
 - (1) 文献の配列は、著者名のアルファベット順とすること。
 - (2) 文献の記載は、著者名、年号、論題（タイトル）、誌名、巻、号、出版社名の順とすること。欧文の雑誌名及び単行本名は、イタリック体にするため、原稿には下線を引くこと。また、ローマ字人名は、スモール・キャピタルとするため、二重下線を引き、日本文の場合は、論題にカギ括弧、雑誌名及び単行本名に二重のカギ括弧を付けること。雑誌の巻数及び号数は、原則としてアラビア数字を用いること。

(例)

論文の場合 (1)

石田英一郎

1948 「文化史的民族学成立の基本問題」『民族学研究』 13(4): 311-330。

Bohannan, P.

1973 Rethinking Culture: A Project for Current Anthropologist. Current Anthropology 14(4): 357-372.

論文の場合 (2)

杉浦 健一

1942 「民間信仰の話」柳田国男編『日本民俗学研究』岩波書店, pp. 117-143。

Leach, Edmund

- 1964 Anthropological Aspects of Language: Animal Categories and Verbal Abuse.
In Eric H. Lennenberg (ed.), New Directions in the Study of Language,
The M. I. T. Press, pp. 23-63.

単行本の場合

泉 靖一

- 1966 『文明をもった生物』 日本放送出版協会。

Murdock, George P. (ed.)

- 1960 Social Structure in Southeast Asia. Viking Fund Publications in Anthro-
pology No. 29, Wenner-Gren Foundation for Anthropological Research, Inc.

翻訳書の場合

エリアーデ, M.

- 1974 『シャーマニズム——古代のエクスタシー技術——』 堀一郎訳 冬樹社。

van Gennep, Arnold

- 1960 The Rites of Passage. M. B. Vizedom and G. L. Caffee, trans., The Uni-
versity of Chicago Press.

国立民族学博物館研究報告 14卷1号

〔監 修〕

梅 棹 忠 夫

〔編集委員長〕

友 枝 啓 泰

〔編集委員〕

朝 倉 敏 夫

片 倉 素 子

ケネス・ラドル

小 山 修 三

崎 山 理 生

周 達 生

田 邊 繁 治

垂 水 稔

中 山 和 芳

長 野 泰 彦

宮 本 勝

吉 田 憲 司

和 田 正 平

平成元年7月27日発行 非売品

国立民族学博物館研究報告 14卷1号

編集・発行 国立民族学博物館
〒565 吹田市千里万博公園10-1
TEL 06 (876) 2151 (代表)

印 刷 中西印刷株式会社
〒602 京都市上京区下立売通小川東入
TEL 075 (441) 3155 (代表)

Bulletin of the National Museum of Ethnology
vol.14 no.1
1989

- HAYASHI, Yukio** **The Making of the Power of *Thamma: Mo Tham* and Thai Buddhism in the History of Thai-Lao Peasants**
- KOMMA, Toru** **Both Hands, Society, and Cosmos: Kipsigis's Cosmology Embedded in Their Counting System on Fingers**
- KURODA, Etsuko** **Major Aspects of Chicano History**
- ISHIGE, Naomichi** **Origins and Distributions: A Study of Fermented Aquatic Products (8)**

ISSN 0385-180X



**National Museum
of Ethnology**

Senri Expo Park, Suita, Osaka, Japan
phone 06-876-2151